三輪太郎

岡田 泰

十六代
坂倉新兵衛

田原崇雄

渋谷英一

特別展2

萩焼
New Age

HAGI TOGEI COLLECTIVE

萩TOGEIコレクティヴ

左より：渋谷英一《萩茶碗 ―白零―》2026年／
田原崇雄《流白釉茶碗》2026年／十六代 坂倉新兵衛《大道粉引茶盌》2026年／
岡田泰《清青釉銀彩茶盌》2024年／三輪太郎《土塊》2026年

2026年10月31日（土）～12月20日（日）

休館日＝11月9日（月）、16日（月）、24日（火）、30日（月）、12月14日（月）　開館時間＝9:00～17:00（入場は16:30まで）

観覧料＝一般1500（1300）円、学生・70歳以上 1300（1100）円　◎同時開催中のすべての展覧会をご覧いただけます

※18歳以下および高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料　※（　）内は前売券および20人以上の団体　※障害者手帳等をお持ちの方とその介護の方1名は無料

※前売り券はローソンチケット（Lコード61474）、セブンチケット（セブンコード117-259）でお求めになれます

主催＝山口県立萩美術館・浦上記念館、萩市、萩市教育委員会、萩市文化協会

山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

https://hum-web.jp/

文化庁

【同時開催】「NIGO®と半泥子」展 ／ 現在形の陶芸 萩大賞展VII　助成：公益財団法人 柏原美術館

HAGI TOGEI COLLECTIVE

萩TOGEIコレクティヴ

特別展1

NIGO®
と
半泥子

NIGO®

川喜田半泥子

2026年10月31日（土）～12月20日（日）

休館日＝11月9日（月）、16日（月）、24日（火）、30日（月）、12月14日（月）　開館時間＝9:00～17:00（入場は16:30まで）

観覧料＝一般1500（1300）円、学生・70歳以上 1300（1100）円　◎同時開催中のすべての展覧会をご覧いただけます

※18歳以下および高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料　※（　）内は前売券および20人以上の団体　※障害者手帳等をお持ちの方とその介護の方1名は無料

※前売り券はローソンチケット（Lコード61474）、セブンチケット（セブンコード117-259）でお求めになれます

主催＝山口県立萩美術館・浦上記念館、萩市、萩市教育委員会、萩市文化協会、萩陶芸家協会、tysテレビ山口　特別協力＝エフエム山口

協賛＝トーフレ株式会社、株式会社アート・カンパニー、株式会社オオバクリエイティブ

TOFLE
トーフレ株式会社

ART COMPANY

OHBA CREATIVE

山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

https://hum-web.jp/

【同時開催】「萩焼 New Age」展 ／ 現在形の陶芸 萩大賞展VII　助成：公益財団法人 柏原美術館

特別展1

NIGO® と 半泥子

NIGO®
《井戸茶碗 銘 ごかご》

川喜田半泥子
《井戸手茶碗 銘 萩の露》

世界で活躍するファッション・デザイナーのNIGO®（1970年生まれ）は、
茶の湯の文化に惹かれ、茶の湯の茶碗を介して川喜田半泥子（1878～1963年）と出会います。
そのきっかけは山口県の萩での作陶を通してでした。近代の萩焼や陶芸に大きな足跡を残した半泥子に私淑するようになったNIGO®は、
半泥子が開いた三重県津市の廣永窯（現・仙鶴窯）をはじめ、萩、長門など日本各地の窯元を訪れて茶碗づくりに没頭していきます。
本展では、そうした半泥子を敬慕するNIGO®が蒐集した半泥子作品のコレクションの中から茶碗を中心とした茶陶や書画など55点と、
NIGO®自身が制作した茶碗25点を一堂に展示いたします。時空を超えて出会った天性のクリエイター二人の陶の競演をお楽しみください。

NIGO®

1970年～

ファッション・デザイナー。1990年代に自身が立ち上げたファッションブランドが裏原宿から世界を席巻、現在のストリートカルチャーの礎を築く。2010年にブランドHUMANMADEをスタート。現在はKENZOのアーティスティックディレクターも務める。2025年からファミリーマートのクリエイティブディレクターにも就任するなどファッション以外にも活動を広げている。茶名は宗号。

川喜田半泥子

1878～1963年

伊勢商人の川喜田久太夫（きゅうだゆう）家十五代の長男として大阪に生まれ、三重県津市に育つ。百五銀行の頭取などを務める実業家でありながら、書画、茶の湯、俳句など多彩な趣味を持ち、40代より作陶を始める。50代半ばに本格的な作陶を開始し、晩年は若手の育成にも力を入れる。文化財団の設立など地域振興にも貢献した。

NIGO®
《灰釉刷毛目茶碗 銘 半白》

川喜田半泥子
《白掛茶碗 銘 藍のほまれ》

渋谷英一

1979年、山口県萩市に生まれる。2016年、「現在形の陶芸　萩大賞展Ⅳ」大賞受賞。

田原崇雄

1982年、山口県長門市に十三代田原陶兵衛の長男として生まれる。2020年、日本陶磁協会現代陶芸奨励賞受賞。

十六代 坂倉新兵衛

1983年、山口県長門市に十五代坂倉新兵衛（一渓）の長男として生まれる。2024年、十六代坂倉新兵衛を襲名。

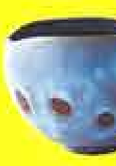
岡田 泰

1976年、山口県萩市に晴雲山岡田窯八代目・岡田裕の長男として生まれる。2024年、パラミタ陶芸大賞受賞。

三輪太郎

1984年、山口県萩市に十三代三輪休雪の長男として生まれる。2024年、初個展。

《地乃器　水指》2026


《舛花碗》2026

《[illegible]》2026

《淡青釉流文水指》2026

《土巣》2026

特別展2

萩焼 New Age

萩焼は、江戸時代初頭、毛利輝元（1553～1625）が萩に築城後、同伴した朝鮮陶工により萩藩の御用窯を築いたのが始まりです。現在の山口県萩市と長門市に築窯した萩焼は、明治維新では藩の庇護を失い一時衰退しますが、十二代坂倉新兵衛（1881～1960）により新たに「茶陶萩」として復興し、続く十代三輪休雪（休和1895～1981）、十一代三輪休雪（壽雪1910～2012）が三重県津市の川喜田半泥子（1878～1963）との交流を経て新たな釉薬「休雪白」を生み出し、現代の陶芸表現としての萩焼を確立させます。
本展は、そうした長い歴史と伝統を持つ萩焼をさらに革新し、伝統の素材や技法と常に緊張関係を保ちながら自己の創造性を発揮しようとする40代から50代の萩焼の陶芸家5名を紹介するものです。萩焼の新たな可能性に挑む新星陶芸家たちの現在を是非ご高覧ください。

イベントのご案内

「NIGO®と半泥子」展　お茶会

NIGO®によるお茶碗でお抹茶をお楽しみいただきます。
11月14日(土) 10:00～15:00　本館1階交流スペース
参加料=1,000円　定員=70名程度(要事前予約)
協力=「萩焼 New Age」展出品作家

「萩焼 New Age」展　お茶会

「萩焼 New Age」展出品作家5名によるお茶碗で
お抹茶をお楽しみいただきます。
11月15日(日) 10:00～15:00　本館1階交流スペース
参加料=700円　定員=70名程度(事前予約50名／当日先着20名程度)
協力=「萩焼 New Age」展出品作家

ギャラリー・ツアー ※要観覧券

11月1日(日)、22日(日)、29日(日)、12月13日(日)
各回11:00～12:00　本館2階展示室

記念講演会「萩焼の現在」 ※聴講無料

12月5日(土) 13:30～15:00　本館講座室
講師=外舘和子(多摩美術大学教授)
定員=70名程度(先着順)

「NIGO®と半泥子」展 お茶会、および「萩焼 New Age」展 お茶会のご予約はコチラから
予約開始10月25日(日) 9:00～　※各イベントへの参加はお一人様1回限りとさせていただきます。

関連企画（主催：菊屋家住宅）

「菊屋家の古萩コレクション」展

会場=菊屋家住宅　※美術館から徒歩5分
〒758-0072 萩市呉服町1丁目1番地

萩藩御用の豪商の屋敷として知られる菊屋家住宅(国指定重要文化財)。400年の歴史を誇る建物だけでなく、美しい庭園、美術品や民具、古書籍など代々承け継がれてきた貴重な歴史資料もまた見どころとなっています。このたびは、「萩焼 New Age」展にあわせ、「古萩」を語る上で欠かすことのできない菊屋家古萩コレクションをご紹介いただきます。

日時=10月31日(土)～12月20日(日) 会期中無休
9:00～17:00(入場は16:45まで)
観覧料=菊屋家住宅入場料にてご覧いただけます。
(大人650円、中高生350円、小学生250円
20名以上の団体は各50円割引)

ナイトミュージアム＆夜カフェ

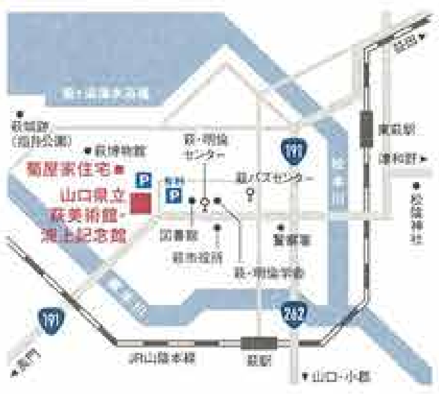
会場=菊屋家住宅　※美術館から徒歩5分
〒758-0072 萩市呉服町1丁目1番地

夜の特別開館。江戸時代の夜の暗さとともに、
菊屋家住宅でのひと時をお楽しみください。

日時=11月7日(土)【第1部】18:00～19:15
【第2部】19:30～20:45
参加料=【通常パック(ワンドリンク付)】2500円
【特別パック(萩スイーツ+ワンドリンク付】3000円

※要事前電話予約・現地支払(電話:0838-22-0005)
※詳細は菊屋家住宅ホームページをご覧ください
https://kikuyake.com

交通のご案内



【新山口駅から】
- 直行バス「スーパーはぎ号」(約60分)で萩・明倫センター下車(徒歩約5分)
- 防長バス(約90分)で萩バスセンター下車(徒歩約12分)

【山口宇部空港から】【萩・石見空港から】
- 萩近鉄タクシー(乗合タクシー)約70～80分(利用前日までに要予約)

【JR山陰本線】
- JR東萩駅からタクシー約7分
- JR東萩駅から萩循環まぁーるバス(西回り)約20分
- JR玉江駅から徒歩約20分

【自動車】
- 「中国自動車道」美祢東JCT経由、「小郡萩道路」絵堂ICから約20分
- 「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い

※運行の状況につきましては、各交通会社にお問い合わせください。

山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM
〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1
TEL. 0838-24-2400
https://hum-web.jp/